

六甲高山植物園 秘境の花 「ヒマラヤの青いケシ」が見頃を迎えました!

阪神電気鉄道株式会社(本社:大阪市 社長:藤原崇起)のグループ会社である六甲山観光株式会社(本社:神戸市 社長:岡本交右)が、六甲山上で運営を行っている六甲高山植物園では、秘境の花「ヒマラヤの青いケシ」が見頃を迎えました。

当園では“ヒマラヤの青いケシ”や“ブルーポピー”と呼ばれる青いケシの代表格である「メコノプシス・ベトニキフォリア」を屋外と屋内の2か所にわたり、約300株栽培しています。ヒマラヤの秘境の地に咲くとても希少な花で、園内でも一際人気を集めています。



◆メコノプシス・ベトニキフォリア(ケシ科)

ヒマラヤの奥地に生育する高さ1.6mにもなる多年草です。澄み切った青空のような美しい花が咲きます。標高3,000mを超す高山にしか見られないうえ、容易に近づくことができないヒマラヤの奥地に咲くため、“幻の花”や“秘境の花”として知られています。1990年に大阪で開催された「国際花と緑の博覧会」において紹介され、一躍有名になりました。

屋外(ロックガーデン)と屋内(ガラス室)2か所で植栽しており、現在屋内・屋外ともに見頃期間に入っております。屋外は6月初旬までお楽しみいただける見込みです。



ガラス室内の様子(5月13日現在)

◆リリースに関するお問合せ先

六甲高山植物園 広報担当

TEL:078-891-1247/FAX:078-891-0137

住所:〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆営業概要

【開園期間】3月21日(土・祝)~11月23日(月・祝) 【休園日】9月3日(木)、10日(木)

【開園時間】10:00~17:00 (16:30受付終了)

【入園料】大人(中学生以上)620円/小人(4歳~小学生)310円